

7月定例記者会見の概要

1. 日時 平成30年7月2日(月) 9時30分～10時30分

2. 場所 本庁舎3階 第一会議室

3. 出席者 <報道機関>

- ①朝日新聞社南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ②NHK南相馬報道室 (南相馬記者クラブ会員)
- ③河北新報社相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ④毎日新聞社南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑤読売新聞社南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑥福島民報社南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑦福島民友新聞社相双支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑧みなみそうまチャンネル

計 8 社

<市側>

- ①市長 ②林副市長 ③教育長
- ④総務部長 ⑤復興企画部長 ⑥市民生活部長
- ⑦健康福祉部長 ⑧経済部長 ⑨建設部長
- ⑩総合病院事務部長 ⑪小高病院事務部長
- ⑫小高区役所長 ⑬鹿島区役所長 ⑭教育委員会事務局長

計 14 人

(司会進行) 秘書課長
(会議記録) 秘書課広報係

【市政報告】

6月18日の大阪府北部地震でお亡くなりになられた方々へ、謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された皆様へ、心よりお見舞いを申し上げます。

登校中に小学校のブロック塀の下敷きとなった、小学4年生の女子児童の事故をきっかけに、本市でも市内の教育施設において、同様の事故を未然に防止するため、調査に着手しております。結果は、後ほど報告します。

また、同事故に関して、6月27日付けで議会より「児童・生徒の通学路の安全確保に関する申し入れ」がありました。市内全域において市民の協力をいただきながら、子供たちの安全・安心を確保する観点で調査を進めて参ります。

6月27日には、馬場有浪江町長の訃報に接し、痛惜の念に堪えませんでした。

馬場町長は、筆舌に尽くしがたいご尽力をされ、東日本大震災並びに東京電力福島第一原発事故からの復旧・復興に向け、陣頭指揮を執り続けられました。昨年末に入院の知らせを聞き、体調の回復を願っておりましたが、残念でなりません。馬

場町長が復興に懸けた志を、私どもも引き継ぎ、復旧・復興にまい進するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

去る6月10日に開催されました第69回全国植樹祭は、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、全国から多くの皆様にご来場いただき、盛会のうち終えることが出来ました。

植樹祭を開催していただきました福島県をはじめ、ご尽力くださった関係者の皆様、ご来場いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

この機運の盛り上がりや、本市の魅力発信につなげ、末永く後世へ引き継いで参りたいと思います。

また、6月25日には、(仮称)小高スマートインターチェンジ整備促進協議会を立ち上げ、同日、総決起大会を小高浮舟文化会館にて開催しました。

(仮称)小高スマートインターチェンジ設置について、官民一丸となり、地域の切望を国へつなげ、早期採択を図るため開催したものです。

平日にも関わらず、大会には国会議員や県議会議員をはじめ、約380人もの方々に参集いただき、スマートインターへの大きな期待と関心の高さ、必要性を改めて感じたところです。今後も一枚岩の団結で、整備実現に向けた歩みを進めてまいります。

6月27日に閉会した第2回市議会定例会におきましては、100年のまちづくりの基本理念と、最重点施策の実現に向けて

- ・「高速道路通行料金助成事業」
- ・「在宅保育支援事業」
- ・「子どもの均等割額免除を実施するための国民健康保険特別会計繰出金」

の3事業を計上し、追加議案を含む議案20件、報告6件についていずれも議決を賜ることができました。

本会議あるいは委員会において議員の皆様よりお寄せいただいた貴重なご意見、ご提言を真摯に受け止め、十分に尊重し、今後の市政運営に反映してまいります。

100年のまちづくり・市復興総合計画 後期基本計画策定に向けた初の市民懇談会を7月7日(土)から17日(火)まで、市内10会場で全12回開催します。

公約に掲げた100年のまちづくり、家族や友人と共に暮らし続けられるまちづくりを築くため、市民の皆様と膝を交えながら対話をさせていただきたいと思います。

プレミアム商品券の受付状況につきましては、6月12日で申し込みを締め切りました。

商品券の発行冊数10万5,000冊に対し、2万3,721名の方から、12万4,877冊の申し込みがありました。

申込多数となったことから、申込冊数の多い方から減冊して調整を行い、申込者全員を当選とした上で、商品券の引き替えや利用時に必要な証明書を、送付する予定です。商品券の購入(引換)は、7月21日から始まります。

サンライフ南相馬など、特定の購入場所は混雑が予想されますので、購入される市民の皆様には、空いている販売場所へ行っていただくなど、混雑回避にご協力いただければと思います。

今月は、いよいよ相馬野馬追が開催となります。東日本大震災の最中であっても、途切れることなく継承してきた相馬野馬追は、相馬地方に住む人々の心の拠り所です。今年も、標葉郷において8年ぶりとなる浪江町での出陣式とお行列が再開されます。

先人が地域の安寧と繁栄を祈念し、継承してきた相馬野馬追に今回、初陣を飾れ

ることを誇りとし、伝統の新たな1ページを創り上げ、次代へ残していきたいと思
います。また、これまで賜りました、ご支援に対する感謝の意を、相馬野馬追にお
越しいただく皆様へお伝えすることができれば幸いです。

また、相馬野馬追の開催期間を中心に、国内及び世界各国から子ども達を本市へ
招待し、交流を深めます。

・『復興「ありがとう」ホストタウンにおける野馬追招待交流事業』として、ジブチ
共和国と台湾の中学生15名。

・『姉妹都市相互派遣交流事業』として、アメリカ合衆国オレゴン州ペンドルトン市
から高校生6名。

・『瀬戸内町・南相馬市友好都市盟約人材育成交流事業』として、鹿児島県瀬戸内町
の小・中学生6名。

招待する子供たちには、相馬野馬追を観覧いただくとともに、スポーツ交流や、
ホームステイ、農家民宿など南相馬市で貴重な夏の思い出を作っていたいただければと
思います。

ここ数週間は、全国各地で激しい雨によって避難情報が発令される地域などがある
一方、真夏日を観測する地域もあるなど、梅雨時の不安定な天気がニュースを賑
わせています。

幸い本市では、災害につながるような大雨はありませんが、災害はいつやってくる
か分かりません。改めて、市民の皆さんに日頃から災害の備えを啓発するととも
に、相馬野馬追や、プレミアム商品券の購入・引替時など、屋外で長時間の見物や、
行列に参加することも予想されることから、熱中症予防も心がけていただき、東日
本大震災から7年目となる今年の夏、家族が集い穏やかに過ごしていただければと
思います。

私からの報告は以上です。各部長による報告のあと、皆さんからのご質問をお受
けいたします。

【各部からの報告】

◆復興企画部

- ・市民懇談会開催及び市総合計画審議会委員公募のお知らせ

◆市民生活部

- ・復興「ありがとう」ホストタウンにおける野馬追招待交流事業について

◆経済部

- ・有害鳥獣ハザードマップの公開について
- ・平成30年度南相馬市事業再開・帰還促進プレミアム商品券の購入申込み
状況及び抽選について
- ・おぢやフェア in 道の駅南相馬の開催について
- ・平成30年度相馬野馬追の概要について
- ・平成30年度姉妹都市相互派遣交流事業について
- ・平成30年度瀬戸内町・南相馬市友好都市盟約人材育成交流事業について

◆鹿島区

- ・高速道路通行料金助成事業の実施について

◆教育委員会事務局

- ・市教育委員会所管施設のブロック壁等の状況確認について
なしきしたにしたてあと
- ・梨木下西館跡発掘調査説明会の開催について

【質疑応答】

質問 1 :

ブロック塀の調査に関して「通学路点検を実施することとした」と記載がありますが、いつごろまでに誰が実施しますか。

また、二次調査における施設の点検は、建築の専門知識を有する方が行ったのでしょうか。

さらに、資料には原二中で修繕の必要性が高くなっていますが、修繕はいつごろまでに完了させる予定ですか。

回答 1 : 教育委員会長事務局長

通学路については、7月中に保護者と教職員、警察が共同で行うこととしています。一次調査については、図面などの資料を基に、各学校等から報告を受けました。二次調査については、一級建築士が現地に向かい、測定なども行っています。それでも構造が複雑などの理由で判断が付かないような場合には、県の建築事務所と連携しながら判断することとしています。

原二中の修繕については、見積書も徴取しているので、早急に着手して撤去・修繕を完了させたいと考えています。

質問 2 :

ブロック塀に関する資料の中で、原一小と上真野小のコンクリートブロック塀について、控壁の適用が「基準外」となっているながら、建築基準法の適用が「不適切」の表記がないのは、どういう意味でしょうか。

また、不適切となっている施設の修繕はいつごろまで完了する予定でしょうか？

回答 2 : 教育委員会長事務局長

控え壁が必要となる基準の高さは1.2m以上と定められていますが、高さを計測する際の基準をどこに合わせるか判断が難しいケースをそういった表記としています。

また、ブロック塀が土地の境界にまたがっているため、市の所有なのか、隣接する土地の所有なのか判断が難しいといったケースがあり、確認中です。

修繕完了の見通しは立っていませんが、早急に撤去または修繕を完了したいと考えています。

質問 3 :

ブロック塀に関して今回、基準を満たしていない、または問題ありと判断された施設や学校の保護者、関係者には、どのような注意喚起がなされましたか。

また、原二中のコンクリート擁壁について「調査中」との記載がありますが、どういった案件でしょうか。

回答 3 : 教育委員会長事務局長

市の施設の場合、市が撤去・修繕工事を行いますが、ブロック塀が隣接する土地

の所有車のものである場合には、当該所有者に協力をお願いする形で児童・生徒の安全の確保に努めます。注意喚起については、学校側から児童・生徒を通じて保護者へ地震の際に、倒壊の恐れのあるブロック塀等には近づかないように周知しました。

原二中のコンクリート擁壁は、高さ 2m45cm の擁壁です。保護者から不安の声が上がったことから、力学的な観点から調査しておりそのような記載としたところです。

質問 4 :

高速道路通行料金助成について議会の承認を得た上での市長の所感と、今後、市民の理解を得るための考えをお聞かせください。

また、ETC カードの不正利用対策について、具体的な内容を教えてください。

回答 4 : 市長

国の線引きにより、市民への賠償や支援に差が生まれました。今回の事業は、この差を少しでも解消しようというものです。市民に対しては、全 13 回の市民懇談会が控えていますので、その中で時間を割いて説明を行い、理解を得ていく考えです。

今回を一つの機運として、地道な積み重ねによって格差の解消につなげたいと思います。

回答 4 : 鹿島区役所長

不正利用対策は、事前の十分な周知と共に、使用車両の登録、ネクスコからの利用履歴の提供を受け、車両と履歴の照合を行うことなどを想定しています。

質問 5 :

有害鳥獣ハザードマップは、他の自治体も公開しているものなのでしょうか。

回答 5 : 経済部長

他の自治体も公開しているようですが、詳細の把握には至っていません。

質問 6 :

プレミアム商品券について、今回は申込多数となり抽選となりましたが、昨年と比較して申し込みが多くなった要因をお聞かせください。

回答 6 : 経済部長

大きく分類して 3 つの要因があったと考えています。1 点目は、事業が 2 年目となり市民への周知度が上がっていたこと。2 点目は対象者に対し直接申込書を送付したことによって利便性が向上したこと。3 点目は、市民のニーズを反映し、申請・利用期間の延長や利用店舗の拡充を図ったことです。

おわり